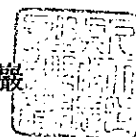




20 建土 第 136 号
平成 20 年 10 月 15 日

国土交通省道路局長 殿

長野県下伊那郡
天龍村長 大 平 巖



今後の道路行政についての意見・提案について（提出）

平成 20 年 9 月 19 日付国道企第 3 7 号にて依頼の標記については、別紙のと
おり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

長野県 天龍村

道路整備計画を進める上で、地元地域の要望を基に新規路線、改良路線、規模等の方針が定められていくと思われませんが、様々な地域要望の中で、地域生活を守るための最低限の道路整備を望んでいる地域はいまだに多く、これらを見極め、過剰な要望に対する優先順位とならないよう適正な判断を基にした計画にしていきたい。

地方の道路整備の必要性が問われがちですが、道路整備の遅れとそれに起因する生活環境整備の遅れ、更に人口流出となる傾向は悪循環となっているものであり、利用頻度の低い地域への道路整備投資が過剰であるとの安易な発想による整備投資の差別がないよう配慮を願います。

農林水産物等、都市部への流通の根源は地方にもあります。また都市から癒しを求めて地方へ流れる利用者也近年増加傾向にあり、せっかく地方を訪れても苦痛な道路を利用しているようでは意味がありません。地方と都市の格差を考える以前に、道路整備の真の必要性ある個所を見極めた上での計画を樹立すべきではないでしょうか。

② - 1 地域の現状と抱える課題

長野県 天龍村

○現状 ・道路条件が悪い地域は、企業誘致はもとより通勤圏としての環境も悪く、生活環境の平均レベルから見ると低下の一途をたどっており、結果的に人口流出や定住者の減少につながっている。道路事情の悪さは地域存続の危機でもあります。 ・地域間を結ぶ幹線道路の整備は、都市部との連絡路線に比べ当然遅れがちであり、いまだ車両のすれ違いさえできない区間もあります。通行上の安全性の問題も深刻。 ・道が悪いから交通量が少ない。交通量が少ないから改良順位が上がらない。悪循環からの回避が困難。 ・農産物の集出荷体制の情勢変化、JA などの生産物集配体制の合理化による施設の集約化の結果、施設への大型車の乗り入れや農家の施設までの搬入など集荷に対する負担が増大している。どちらにしても道路整備の必要性が高まっている。 ・当村では日帰り温泉、特産物イベントや季節観光等、観光誘客するも、大型バスの乗り入れができず本格化ができない。	○課題 ・過疎化対策としての道路整備も急務である一方、都市圏への道路がよくなると人口の流出の要因ともなるとも言われる中、中期計画策定にあたっては、計画的な生活圏のあり方を模索する必要性がある。 ・安全性を考慮した拡幅や待避所設置等の改良を進めたい。山間地や急傾斜地では改良工事等に要する経費も膨大になり、投資上の計画性も問題となる。 ・地形等悪条件の中での道路整備 ・農林水産物の流通については、地方によっても条件が様々で、道路行政だけの問題として解決できない部分もある。 ・観光ルートの想定を明確にし、ルートの整備計画的に進める。
---	---

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

② - 2 地域の目指すべき将来像

長野県 天龍村

産業資源や観光資源等に直結した幹線道路の整備

当村の今後の目標として、日帰り温泉施設を中心に観光農業や自然資源をベースにした観光拠点を確立していきたい。これに伴う幹線道路の整備、大型車がすれ違い可能となる最低限の整備を要望する。村内を縦貫する国道 418、国道 151 にアクセスする主要道の整備は、いまだに車両のすれ違いができない区間があり、これらの改良は悲願である。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等

長野県 天龍村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・交通安全対策及び危機管理対策	国道 418 号国補特殊改良事業	安全な車両交互通行 緊急車両の安定走行 観光面での大型車両の乗り入れ可能 や利用者の増加	